

令和6年度研究プロジェクト計画概要

研究種別	■自主研究 5	公益目的事業 11
主査名	松澤俊雄 大阪市立大学名誉教授・高橋愛典 近畿大学教授	
研究テーマ	「地域・都市の総合交通政策」における運輸・交通事業の経営環境問題 —とりわけ労働力不足への対応の方向性について	
<p>当プロジェクトにおける総合交通政策は「インフラの整備と運営」「地域（都市）内交通と地域（都市）間交通」「旅客輸送と貨物輸送」「個別交通手段（マイカー等）と路面公共交通（バス・路面電車・LRT）」のそれぞれを一体的に検討し、さらにこれら要素をシームレスに統合することで得られる、政策的示唆の体系を意味している。より具体的には、令和5年度の成果として、地域特性に沿ったデマンド交通による交通利便性確保、運賃政策（とりわけ割引施策）による地域公共交通の利用促進、京阪神都市圏のまちづくりにおける交通事業者の役割、ヨーロッパの諸都市における SUMP(Sustainable Urban Mobility Planning)などに着目し、各種の研究成果を積み重ねてきた。</p> <p>令和6年度のプロジェクトでは、社会経済全体のフレームにおいて総合交通政策に関する上記の問題意識を堅持しつつも、昨今急速に深刻化している交通・運輸事業を取り巻く経営環境の諸問題、とりわけ労働力不足へのアプローチを試みたい。</p> <p>労働力不足は都市・地域において、公共旅客交通と貨物輸送の両方において問題となっている。具体的には、公共旅客交通に関しては個別交通手段（マイカー）や非在来型公共交通（デマンド交通など）との一体的検討、貨物輸送に関しては物流全般の労働力不足とその対応（物流拠点における自動化・労働環境改善）についても視野に入れ、データ分析と現地調査という2つの手法を活用する。</p>		